

— すべてのステークホルダーから信頼され支持される企業へ —

ADMIRE COMPANY

2018年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2017年10月30日
ネットワンシステムズ株式会社
証券コード 7518



■■■ Agenda ■■■

- **2018年3月期 Q1-2（4-9月）業績概要** **P. 2-11**
- **中期計画の進捗** **P. 12-21**

2018年3月期 Q1-2（4-9月）業績概要

2018年3月期 第2四半期 累計業績サマリー

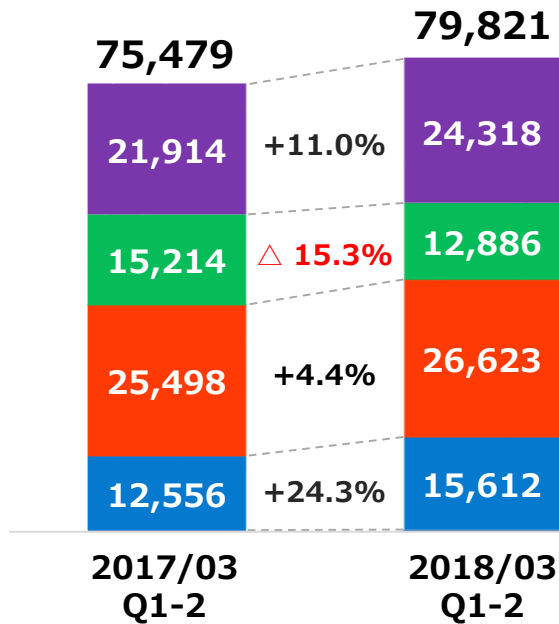
(単位：百万円)	2018/03 Q1-2 実績 (A)		2018/03 Q1-2 期初公表計画 (B)		期初公表計画比 (A-B)		2017/03 Q1-2 実績 (C)		前年同期比 (A-C)	
					増減額	増減率			増減額	増減率
受注高	79,821		71,000		8,821	12.4%	75,479		4,341	5.8%
売上高	70,696	100.0%	65,000	100.0%	5,696	8.8%	66,539	100.0%	4,157	6.2%
売上原価	54,098	76.5%	50,146	77.1%	3,952	7.9%	52,305	78.6%	1,793	3.4%
売上総利益	16,598	23.5%	14,853	22.9%	1,745	11.7%	14,234	21.4%	2,364	16.6%
販売費及び 一般管理費	14,287	20.2%	13,953	21.5%	334	2.4%	13,937	20.9%	349	2.5%
営業利益	2,311	3.3%	900	1.4%	1,411	156.8%	296	0.4%	2,014	680.6%
経常利益	2,370	3.4%	900	1.4%	1,470	163.4%	274	0.4%	2,095	763.3%
親会社株主に 帰属する当期利益	1,569	2.2%	500	0.8%	1,069	214.0%	127	0.2%	1,441	-
受注残	69,189		-		-	-	62,306		6,882	11.0%

受注高・売上高・利益ともに期初公表計画を超過して達成し、売上総利益率の改善も継続。
パブリック市場・エンタープライズ市場・パートナー事業がそれぞれ堅調に推移。

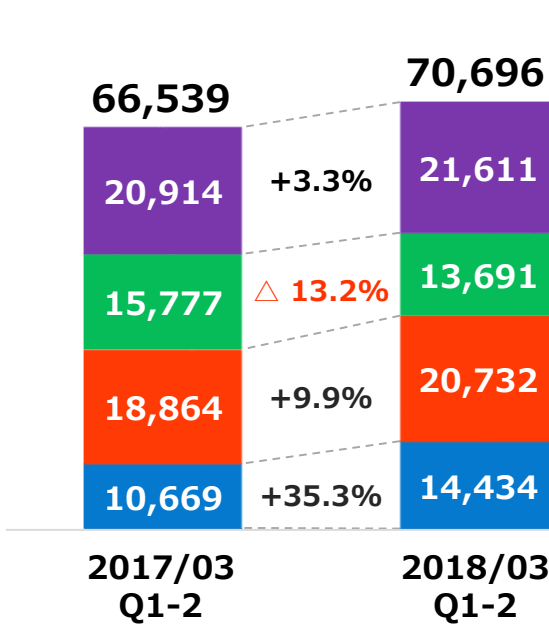
(注：変更内容) 当期より、期間対応契約のベンダサポートにつきましては、月次分割計上に変更しております

マーケット別 受注高・売上高・受注残

■ 受注高

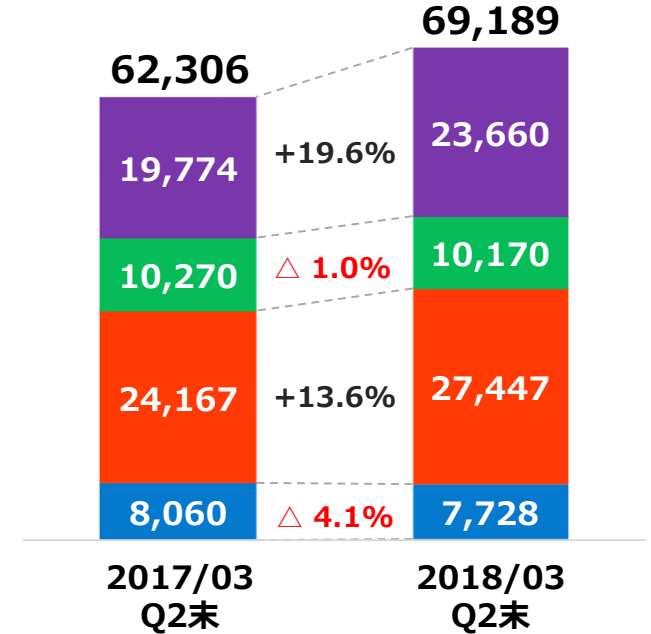


■ 売上高



■ 受注残

(単位：百万円)



エンタープライズ

セキュリティ対策、クラウド基盤、働き方改革関連の引き合いが好調

通信事業者

クラウドサービス基盤ビジネスが堅調に推移

パブリック

自治体・ヘルスケア・大学・教育委員会等で、セキュリティ対策やクラウド基盤案件が堅調に推移

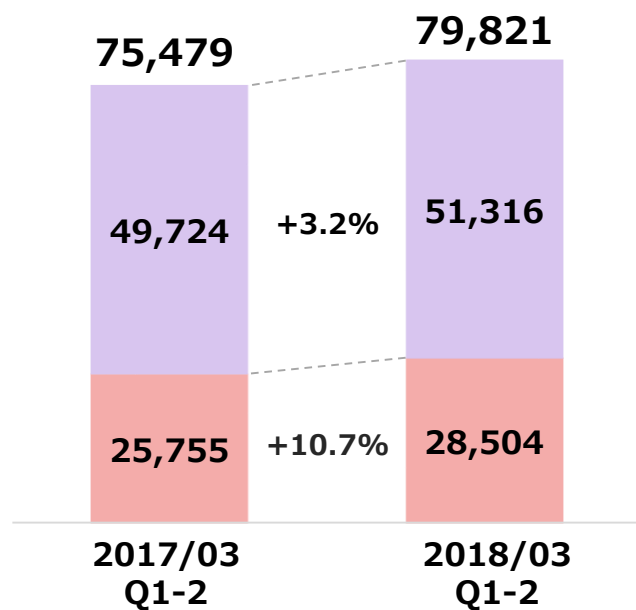
パートナー

主要パートナー向けのビジネス、並びに、通信事業者経由のマネージドサービスが好調に推移

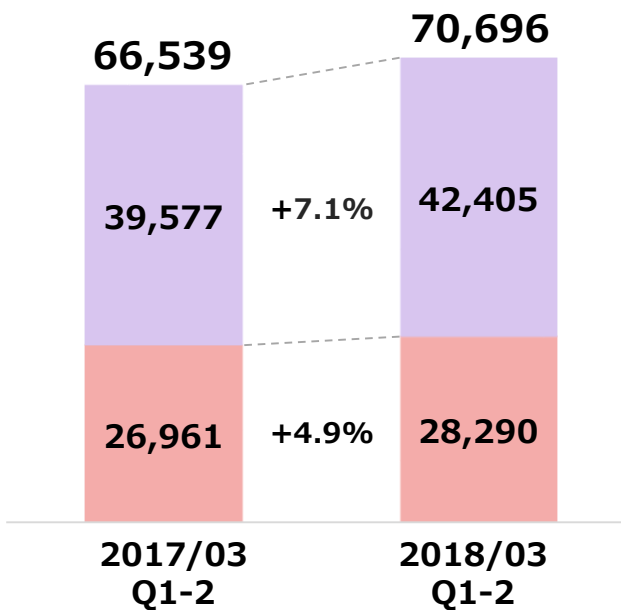
(注：変更内容) 当期より、期間対応契約のベンダサポートにつきましては、月次分割計上に変更しております

商品群別 受注高・売上高・受注残

■ 受注高

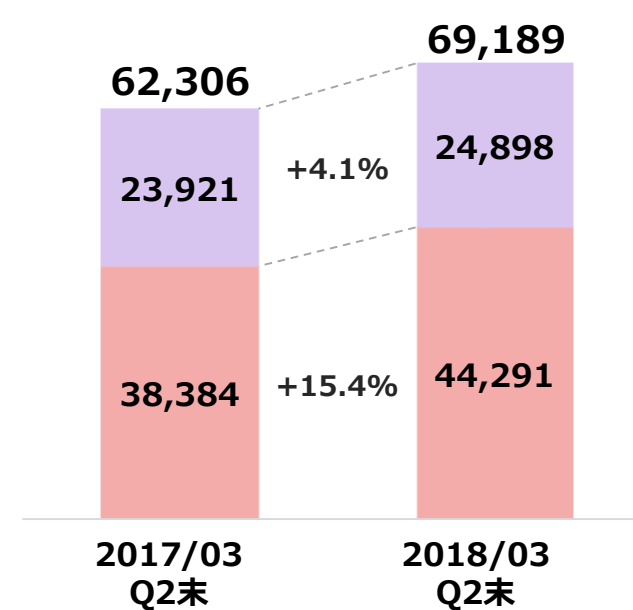


■ 売上高



■ 受注残

(単位：百万円)



機器

セキュリティ対策及びクラウド基盤案件が堅調に推移

サービス

ソリューション提案が進み、設計・構築・保守・運用サービス等を含む案件が増加

連結貸借対照表

(単位：百万円)	2017.09.30	前年度末比		2017.03.31
	実績	増減額	増減率	実績
資産合計	98,205	(5,160)	△ 5.0%	103,365
流動資産	87,699	(4,726)	△ 5.1%	92,425
現預金+有価証券	21,570	4,333	+25.1%	17,236
売掛金+受取手形	30,994	(13,536)	△ 30.4%	44,530
棚卸資産	21,296	4,654	+28.0%	16,642
その他	13,837	(177)	△ 1.3%	14,015
固定資産	10,505	(434)	△ 4.0%	10,940
有形固定資産	5,189	(316)	△ 5.8%	5,505
無形固定資産	1,959	(183)	△ 8.6%	2,142
投資等	3,357	65	+2.0%	3,291
負債合計	40,365	(5,672)	△ 12.3%	46,037
流動負債	35,591	(5,417)	△ 13.2%	41,009
固定負債	4,773	(254)	△ 5.1%	5,027
純資産合計	57,839	511	+0.9%	57,328
株主資本	57,526	340	+0.6%	57,186
その他の包括利益累計額	152	138	-	13
新株予約権	160	32	+25.5%	128
負債純資産合計	98,205	(5,160)	△ 5.0%	103,365

セグメント情報

(単位：百万円)		報告セグメント					計	その他	合計	調整額	連結 損益計算書 計上額
		インタープライズ	通信事業者	パブリック	パートナー						
2018/03 Q2 【当期】	売上高	21,615	13,691	20,732	14,434	70,473	781	71,255	(558)	70,696	
	セグメント利益	581	715	512	695	2,505	22	2,527	(216)	2,311	
	利益率	2.7%	5.2%	2.5%	4.8%					3.3%	
2017/03 Q2 【前期】	売上高	20,915	15,777	18,864	10,669	66,227	795	67,023	(484)	66,539	
	セグメント利益	271	717	(298)	(93)	596	3	599	(303)	296	
	利益率	1.3%	4.5%	△ 1.6%	△ 0.9%					0.4%	

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サーバサービス事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額には各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

上期トピックス

好調な受注

主にクラウドシステム with セキュリティの分野が牽引
工場向けIoT(Industrial IoT)も好調に推移

■ エンタープライズ市場

前期比増(+11.0%)で堅調に推移

- ✓ 全業種でのクラウド基盤・セキュリティ対策
- ✓ 製造業を中心としたIndustrial IoT
- ✓ 働き方改革

■ 通信事業者市場

クラウドサービス基盤が拡大しているものの、
前期比で減少(△15.3%)

■ パブリック市場

高水準だった前期を超過(+4.4%)して推移

- ✓ 自治体のセキュリティ対策の継続
- ✓ 大学・教育委員会のセキュリティ対策
- ✓ ヘルスケア(病院)のクラウド基盤

■ パートナー事業

前期比で大幅に増加(+24.3%)

- ✓ 主要パートナービジネスの継続・拡大
- ✓ 通信事業者向けに特定商材が拡大

為替レート等

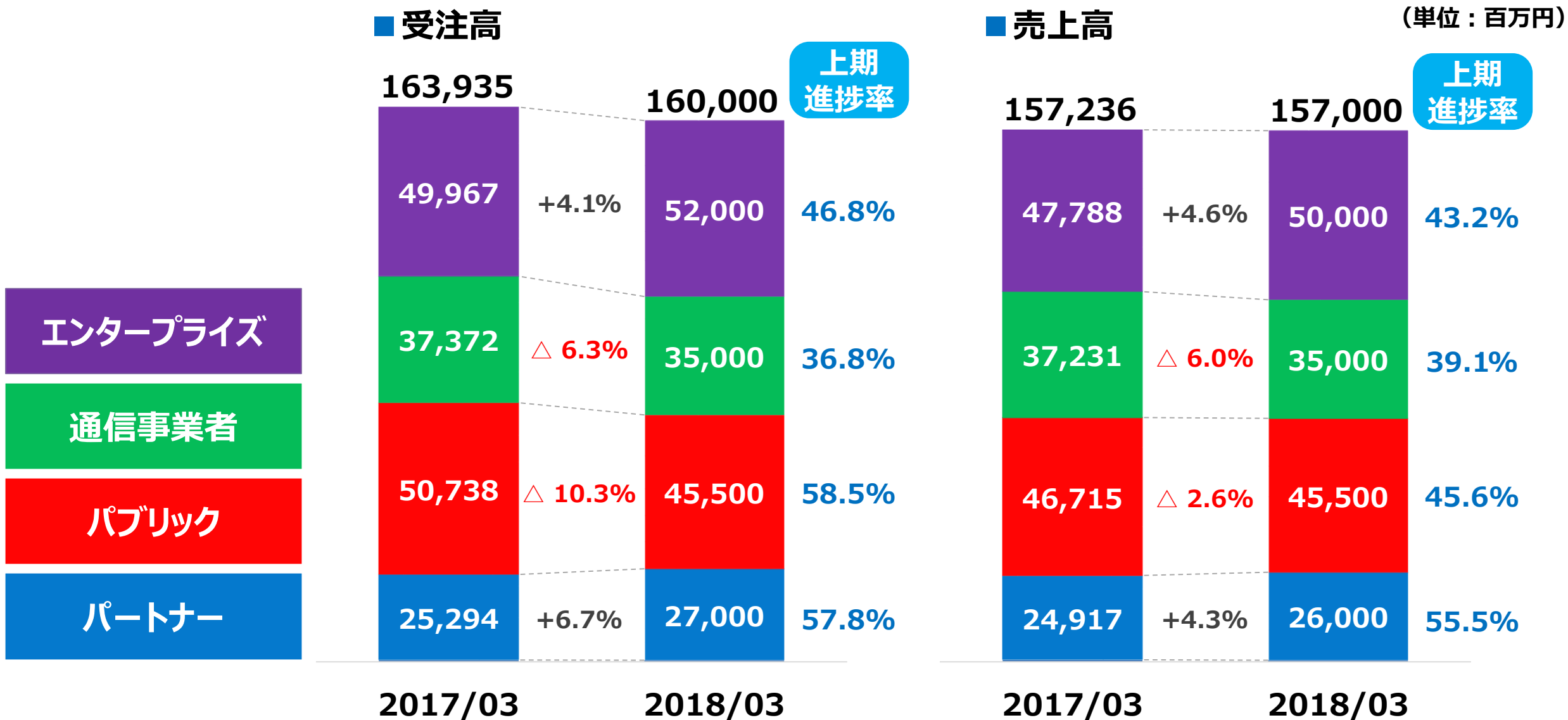
	2018/03 Q1-2	前年同期比		2017/03 Q1-2
		増減額	増減率	
為替レート（\$円）	111.14	(3.36)	△ 2.9%	114.50
1株当たり当期利益（円）	18.56	17.05	-	1.51
1株当たり配当金（円）	15.00	0.00	0.0%	15.00

	2018/03 Q2末	前年同期比		2017/03 Q2末
		増減数	増減率	
社員（人）	2,288	35	1.6%	2,253

2018年3月期 通期業績の見通し (※期初公表値から変更なし)

(単位：百万円)	2018/03 公表計画		前年同期比		2017/03 実績	
			増減額	増減率		
受注高	160,000		(3,935)	△ 2.4%	163,935	
売上高	157,000	100.0%	(236)	△ 0.2%	157,236	100.0%
売上原価	121,275	77.2%	(738)	△ 0.6%	122,013	77.6%
売上総利益	35,724	22.8%	500	1.4%	35,223	22.4%
販売管理費	28,524	18.2%	(951)	△ 3.2%	29,475	18.8%
営業利益	7,200	4.6%	1,452	25.3%	5,747	3.7%
経常利益	7,200	4.6%	1,498	26.3%	5,701	3.6%
親会社株主に帰属する当期利益	4,600	2.9%	777	20.3%	3,822	2.4%

2018年3月期 通期業績の見通し マーケット別 (※期初公表値から変更なし)



中期計画の進捗

市場動向

セキュリティ・クラウド・ICT利活用が投資のドライバー



国内セキュリティ市場規模予測

- ✓ セキュリティ製品市場：2016～21年のCAGRは4.1%、2021年は3,477億円と予測
- ✓ セキュリティサービス市場：2016～21年のCAGRは5.6%、2021年は9,434億円と予測

2017年6月5日
IDC Japan株式会社

国内クラウド市場 ユーザー動向調査結果

- ✓ 国内企業は、クラウド導入の促進要因として「ITセキュリティの強化」を最も重要視
- ✓ 「IT予算の削減」は、過年度調査と比較して優先順位が大幅に低下

2017年8月17日
IDC Japan株式会社

国内プライベートクラウド市場予測

- ✓ 2021年の市場規模は、2016年比5.2倍の1兆6,045億になると予測
- ✓ 「従来型ITからの移行」「DXのプラットフォーム」を両輪として高い成長を継続

2017年10月17日
IDC Japan株式会社

ネットワークシステムズの方向性・価値

経営理念

ICTの利活用を通じて、社会変革へ貢献する

コアコンピタンス

インテグレーション



差別化価値

自社実践による利活用ノウハウ

中立性・アーキテクチャ指向



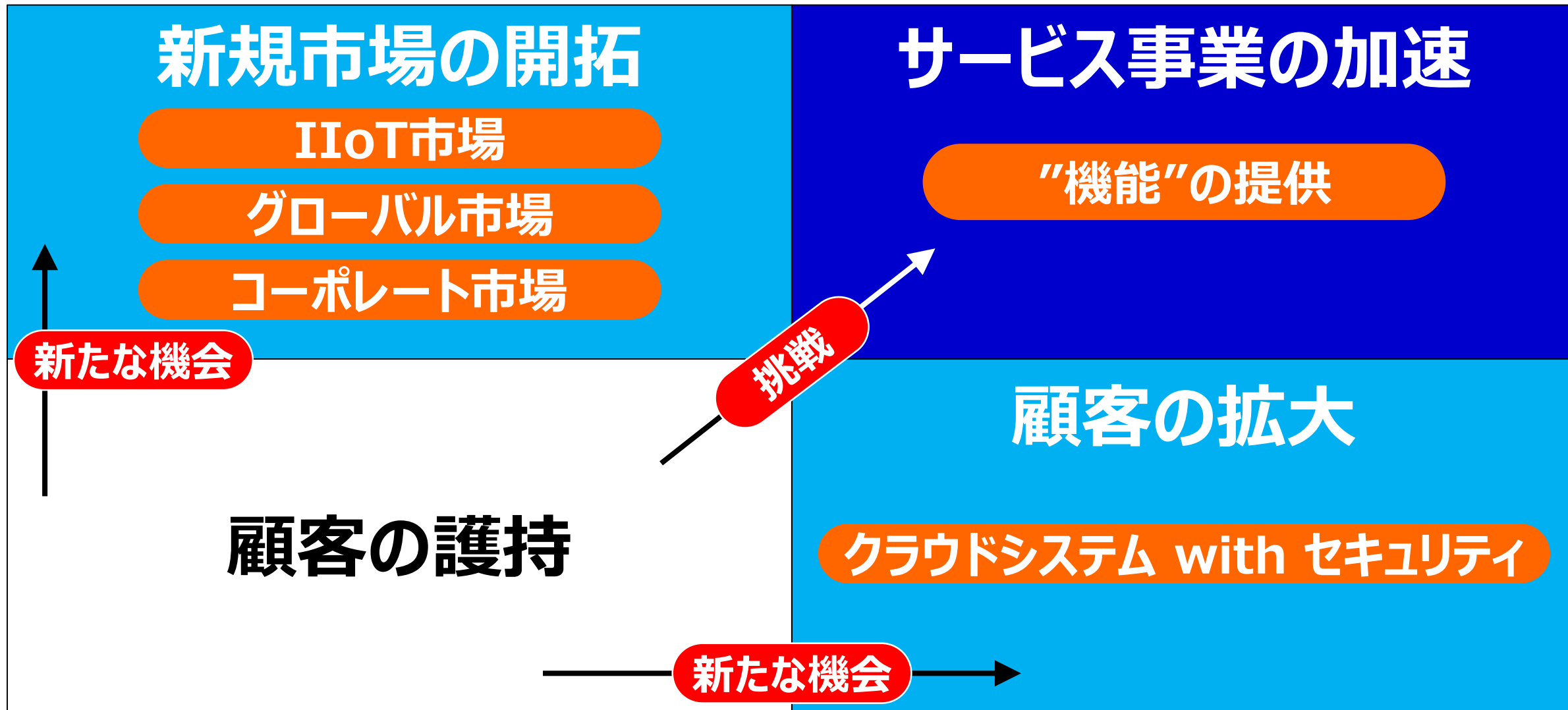
市場の需要

クラウド・セキュリティ

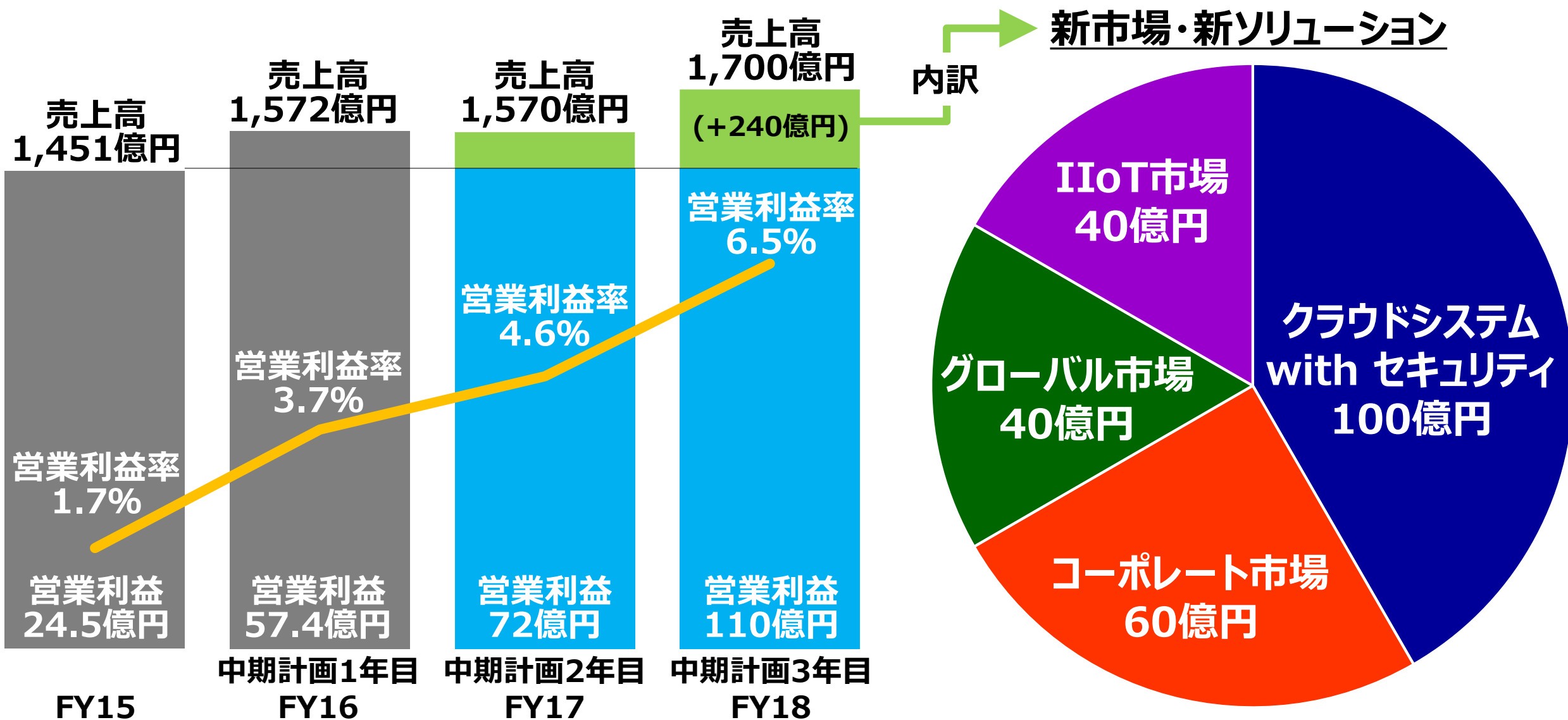
ICT利活用
(働き方改革/IIoTなど)



成長戦略



中期計画



FY18(中計3年目)計画数字の達成へ

さらなる売上高・売上総利益率の向上へ：**サービス事業の加速**

従来の顧客の要望：機器の所有
機器販売に、サービスが付随



ビジネスモデルを転換

今後の顧客の要望：「機能」の利用

- 顧客が求める「機能」をサービス提供し、機器が付随
- より価値の高いアーキテクチャ指向ソリューションを展開



サービス比率の拡大へ

FY18に、機器とサービスの比率を1：1に近づける

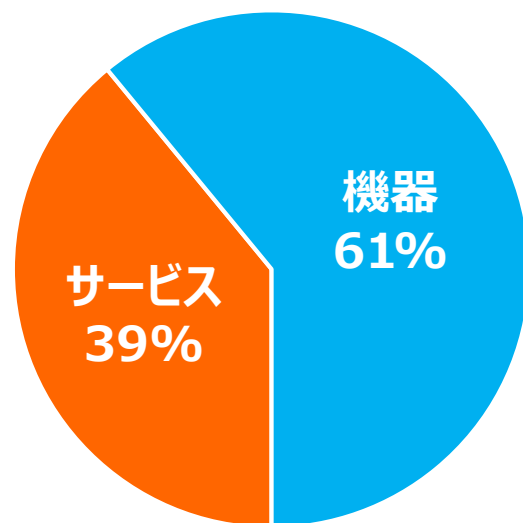
機器

従来型サービス

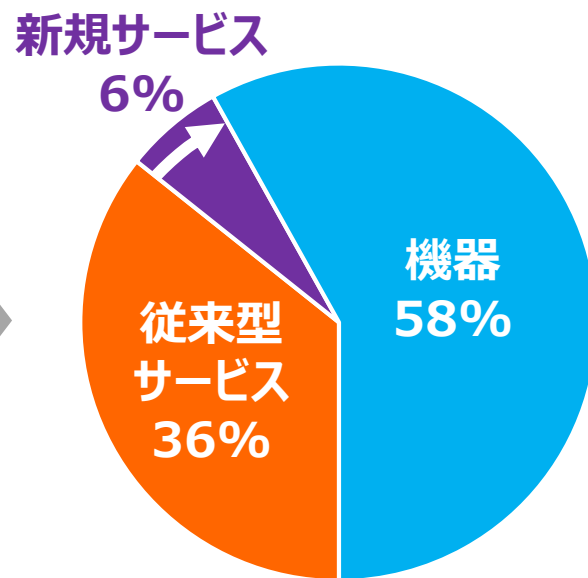
新規サービス

設計・構築・保守・運用

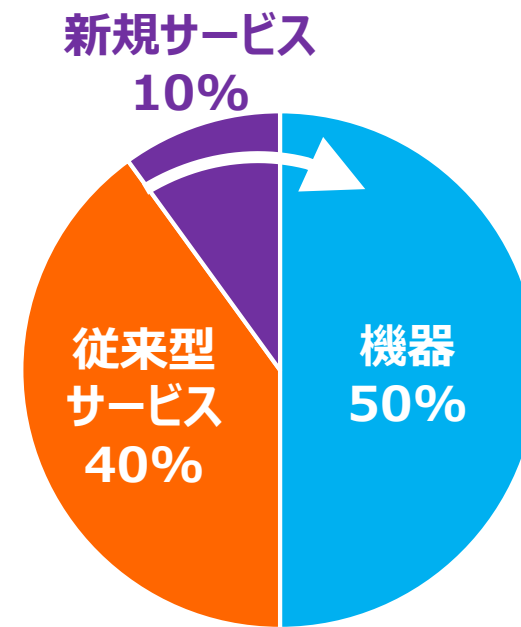
新規開発サービス&機器
(ソリューション提供)



FY16 通期受注高の構成比



FY17 上期受注高の構成比



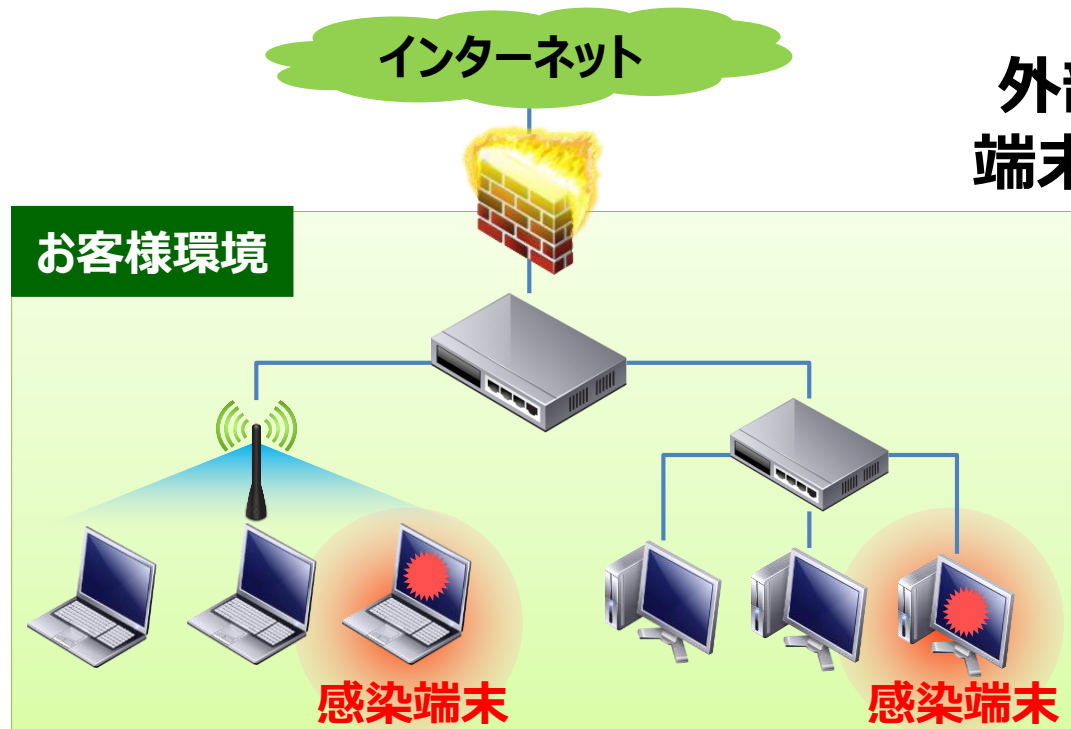
FY18 構成比イメージ

セキュリティサービスの強化

2017年10月25日発表

新サービス「MDR (Managed Detection and Response) サービス」

マルウェア感染端末からの情報流出を防ぐ、革新的なセキュリティ監視・運用サービス



外部境界上の対策に留まらず
端末レベルでの対処にフォーカス



不審な挙動の検知

感染端末の特定

LANからの隔離

情報漏えい防止



アーキテクチャ指向ソリューション

モノのインテグレーション



ソフトウェアのインテグレーション



サービスのインテグレーション

新規開発サービス

- ✓ クラウドHUBサービス
- ✓ SD-WANサービス
- ✓ セキュリティサービス

設計・構築・保守・運用サービス

ICT利活用ノウハウ / ネットワーク技術

アーキテクチャ指向で、顧客の求める“機能”をサービス提供



つなぐ ∟ むすぶ ∟ かわる



net one